

# 任国あんなこと!こんなこと!

## 「私のメキシコ体験記・異文化との出会い」 第5回～メキシコのピラミッド～

佐藤 満寿哉 (JECK会員)

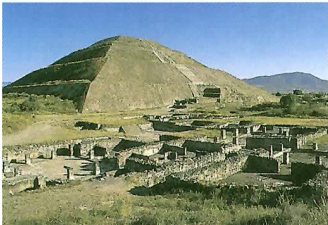
ピラミッドと言えば大部分の人はエジプトを思うことでしょう。メキシコにもピラミッドがあるとは聞いていましたが実際に見てビックリしました。

大きさこそ違ってもはい数多くのピラミッドがメキシコのあちこちにあり、それぞれが古代文明とともに残されているのです。マヤ・サポテカ・ティオティワカン・アステカと先史時代から続く遺跡の中から今回はティオティワカン(神々の都)とウシュマルのピラミッドを紹介しましょう。

ティオティワカンはメキシコ市の北東50キロの所にあり、BC2世紀からAD7世紀にかけて栄えた文明で、その象徴として構築された「太陽と月のピラミッド」は墳墓ではなく神殿でした。太陽のピラミッドは高さ65m基底部は216×228mの大きさで、当時1日数千人の労働力で50年余をかけAD1世紀に完成したと言われていました。月のピラミッドは高さ46mで周辺には広大な住居地域があり、最盛期には20平方キロの地に10万人が住んだと言われます。南北に走る道路は約4キロで幅45mもあり全ての建造物がこの通りに沿っており、アステカ族には「死者の通り」と呼ばれていたのが王の墳墓と判断していたようです。

またこの近くには「ケツアルコアトルの神殿」(羽毛を持つヘビ・水と農耕の神)やジャガーの神殿などがあり、この遺跡の見所となっています。ただ、ピラミッドはそれほど高くはありませんが2000mを越す地にあり段差も大きいので昇るのは相当の体力を必要とするのは確かです。

一方、ユカタン半島の中央部にあるウシュマル遺跡はマヤ族が作ったもので「魔法使いのピラミッド」が有名です。これも高さ30mほどの神殿で、側壁全体にマヤ遺跡には珍しい卵のような膨らみがあり女性的な柔らかさを感じさせますが西側の階段は上から見下ろすと目が眩むほどの急傾斜になっています。そしてこの2つのピラミッドから出た多くの遺跡群はメキシコシティにある国立人類学博物館に陳列されており、まさに「文化は全人類の遺産」と呼ばれるに相応しい展示品となって訪れる人々を魅了しています。



太陽のピラミッド



魔法使いのピラミッド

## 夜間外出禁止令下の専門家の生活(II) (ケニア国、ナイロビ)

大久保 卓次 (JECK会員)

モンバサからナイロビまでは約500kmです。制限時間内にナイロビに行き着くのは困難と考え、パスポートも持たず、荷物もナイロビに置いたままで日本帰国となったらとの心配もありましたが、混乱がほとんど無く(と言うより情報が入らなかった。)平穏なモンバサに事件が収まるまで滞在を決め込みました。新聞は何日か発行されず、ラジオもスワヒリ語の音楽だけでニュースは全く流れません。仕方なしに海岸での休暇を楽しみながら、外出禁止令の時間が緩和されるのを待って8月6日にナイロビにたどり着くことができました。



一方、ナイロビに滞在していた日本人です。ナイロビでも情報源が乏しいため状況把握ができず、日本大使館からは「不要な外出は控えるよう」、「ガソリン不足の兆しあり」、「クーデター再発のデマに惑わされるな」等の連絡は入るものの、噂や人伝に聞いたこと位しか情報が入らず、恐る恐る町中へ出かけては様子を探っていたようです。運悪くモンバサから休暇を終え前日にナイロビへ戻ってきてしまった水道の専門家もいました。彼は、当日の朝、起きがけに日本の職場の上司からの国際電話でクーデター発生を知らされ、状況がわからないままとんちんかんな受け答えをしてしまったそうです。

もう一人の水道専門家は、夕方外出した折に車を当て逃げされてパンク、外出禁止の時間の迫る中、パトカー先導のレッカー車で修理工場まで護送してもらった後、パトカーに次々と無線で入ってくる警戒指令のため、そのまま後部座席で街中のパトロールに付き合わされ、家に着いたのは深夜過ぎという経験をしています。

今回の暴動に比べれば規模は小さく、10日も経たないうちに夕方までの時間でカジノがオープンされたり、それまで滞っていた住宅手当が4ヶ月まとめて支払われたりと順調に町中の落ち着きを取り戻されましたが、商店への略奪行為の横行(特にインド人経営の店が的にされた。)、大きな袋を担いだまま射殺された掠奪者の写真、高層ホテルの窓から望遠レンズで撮影していたため、軍に狙撃されて死んだ日本人旅行者等、暴動の爪痕は悲惨なものでした。夜間、暗がりでの物音に対する軍や警察の発砲により、人ばかりでなく犬や猫までがかなりの数で撃ち殺されたそうです。

ケニアはアフリカの優等国でもあり、周辺の内陸国にとっての物質の流通拠点でもあります。ケニアの不安定はケニア国内ばかりでなく周辺国への影響が計り知れません。一刻も早い暴動の収束、安定の回復が望まれます。

## 編集後記

今年の夏は、高校野球・北京オリンピックと本当によく、長時間テレビを見ました。感動するシーンも多くありました。そして今、政局も動きが急になり、年金・医療費・食品などの問題に更に異常な天候も加わって、一層暑さも増した夏だったような気がします。皆様も大雨や地震など、非常時の対策をお忘れ無きように。(満)

## JECKホームページのリニューアル

JECK発足5周年を機にホームページを一新しましたのでご覧ください。URLは従来と変わらず <http://www.jeck.jp> サーバーの契約容量が500MBとなり、より多くの情報が掲載可能となりました。JECK会員の相互情報交換のみならず、JECKの活動を広く世間に伝える広報媒体として、活用いたしたく考えております。今回は、とりあえず基本部分を作成・整理いたしました。今後順次内容の充実にも努めますので、会員の皆様からもご意見、掲載要望等をお寄せいただきますようお願いいたします。

(ホームページ担当者: 吉田博至、管理責任者: 佐藤満寿哉)

## JICA帰国専門家連絡会かながわ会報 第11号

発行 2008年10月

発行者 JICA帰国専門家連絡会かながわ(JECK)

事務局 植岡 龍太郎 (e-mail: ueokaf@ybb.ne.jp)

横浜市戸塚区上倉田町2007-27-116

菊池技術事務所内

編集委員会 佐藤満寿哉(編集責任)

菊池正夫、中之園賢治、物部宏之、谷保茂樹、小泉由紀子

印刷 横浜リテラ (URL: <http://www.yokohamalitera.com/>)

(e-mail: [info@yokohamalitera.co.jp](mailto:info@yokohamalitera.co.jp))

横浜市戸塚区上矢部町2039-2